

第1回検討会で御議論頂きたい論点

(1) これまでの高齢社会対策への評価

(2) 今後の高齢社会対策を推進するに当たって重要と思われる課題・視点（特に新たな課題・視点）

（参考）

人口減少と急速な高齢化を迎えている我が国における持続可能な経済社会の在り方を検討する上で、今後5～10年間に見込まれる課題と検討が必要と考えられる視点の例

見込まれる課題の例

- 一人暮らし高齢者の増加（生活基盤、経済状態等）
- 地域間格差（高齢化進行度の違いや対応力格差）
- イノベーションへの順応格差
- 長寿化に備える資産と健康の確保

検討が必要と考えられる視点の例

活躍の場の創造（収入の確保）

- ・高齢者の就業促進、起業支援、社会活動促進
- ・年齢に捉われず個々のニーズに応じた高齢期の過ごし方の確保

生活基盤の確保

- ・住まいの確保と多世代共生
- ・成年後見制度の利用促進
- ・移動手段、交通安全等、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進

暮らしの質の向上

- ・Society5.0を通じた先進技術の活用（ICT化、ロボット、AIの活用等）
- ・健康長寿分野における多様な需要の顕在化

介護離職ゼロ

- ・介護受け皿の拡大、介護人材の確保・育成

高齢社会への対応力の向上

- ・個々人の高齢社会への関与の促進（計画的な資産形成、健康確保等）
- ・高齢化に対応する我が国の知見の国際的価値の認識と対外発信

政策立案、施策実施等の各段階における点検・評価・検討の強化

など